

平成 27 年 度 事 業 報 告

昨年は、自由民主党の総裁選挙で、いち早く安倍晋三・総裁の再選に声を上げた二階俊博・総務会長は推薦するに関して志帥会として政策提言を行ったが、その政策提言の中に、「同和人権対策に関する法整備」を加えたことにより、9月から志帥会の若手国会議員との勉強会を始めている最中に、自由民主党は今年になって夏の参議院議員選挙の公約づくりのため、新たな課題に取り組むとして、「性的指向・性自認(LGBT)に関する特命委員会」や「差別問題に関する特命委員会」とその下部組織として二階俊博・総務会長の肝煎りで「部落問題に関する小委員会」の設置を決めた。

LGBTの特命委員会は、LGBTの方々がどのような困難に直面しているのかを把握した上で、社会の理解を促し、差別をなくし不自由さを克服するための方策を検討するとしており、その成果を5月の中旬までにまとめるとしている。

一方、「差別問題に関する特命委員会」は、ヘイトスピーチ対策と安倍・内閣が掲げる一億総活躍で高齢者の働く場所を確保することを阻害している年齢差別について検討することにしており、この特命委員会の下部組織としての「部落問題に関する小委員会」は、同和問題を解決するための法的措置を議員立法として、今国会へ提出することを目指し、第1回は法務省からのヒヤリングを行い、第2回は私ども自由同和会からヒヤリングを行った。第3回は部落解放同盟からヒヤリングを行った。

組織内活動では、第30回全国大会を自由民主党本部の9F901会議室に、306名を集め開催した。

自由民主党を代表して挨拶された谷垣禎一・幹事長は、「自由民主党はこれまでも、ストーカー規制法、配偶者暴力防止法、児童・高齢者・障害者それぞれの虐待防止法等々、個別の法律を作って人権問題の解決のために努力してきましたが、今後も自由同和会の皆さんと緊密な連携を取って、ご意見にもしっかり耳を傾け、どのような方策をとれば人権問題の解決に向かっていけるのか、一生懸命努力していきたいと思っています」と述べられた。

また、(公社)全国人権教育研究協議会の荒木康雄・元副委員長、全国隣保館連絡協議会の川崎正明・会長からも連帯のあいさつをいただいた。

記念講演では、京都産業大学文化学部教授の灘本昌久さんが、「同和対策事業終結後の同和運動団体とその未来」のテーマでお話しされた。

議事では、すべての議案を滞りなく承認した。

今回の全国大会でも、開会から閉会までの全日程をインターネットのYouTubeを活用して、完全生中継をするとともに、その録画を自由同和会中央本部のホームページ上で誰でも視聴できるようにした。

11月には、毎年実施している定期中央省庁要請行動を行い、同和問題の早期完全解決に向け平成28年度の人権関係予算の拡充を要請するとともに、「人権擁護法案」の早期成立への協力を要請した。

毎年開催している幹部研修会では、『同対法』施行50年を目前にして、解決した問題、未解決な問題、今後予想される問題』のテーマで、パネリストに関西大学社会学部教授の石元清美さんと京都産業大学文化学部教授の灘本昌久さんを迎え、中央本部の平河秀樹事務局長のコーディネートでシンポジウムを行った。

自由民主党を代表してあいさつされた細田博之・幹事長代行は、「通産省に勤めていた折

に同和対策に係わりをもった。法施行により問題解決に向かっているが、完全解決には至っておらず政府が責任をもって解決していくべき。この間の取組で着実に改善してきているが、有名なある人物の週刊誌報道で差別が残っていることを痛感した。これからさらに前進をいたし、これで解決したという時代を迎えるべく、皆さんと努力したい」と熱意あるあいさつをいただいた。

今回の幹部研修会も、インターネットのYouTubeで、開会から閉会までの全日程をLive中継するとともに、その中継の録画を自由同和会中央本部のホームページ上に載せ、Live中継を見逃した人でも視聴できるようにしたことをお知らせし、平成27年度の事業報告にする。